

コーヒーを軸とした神保町街づくり（神保町コーヒー・プロジェクト）

— 明治大学 —

目 的

神保町はとても魅力に溢れた街である。古くからある純喫茶と古本屋が多く、これまでこの2つが相まって他にはない特徴的な文化的な街並みを形成してきた。しかし、現在、サードウェーブ・コーヒーの興隆の中で、若者の間ではコーヒーと聞いて神保町がイメージされることは少なくなっている。また、古本屋もアマゾンなどオンラインで古本が購入できるようになってきたことから新刊書店も古書店も経営が厳しい時代になってきている。こうした中、本プロジェクトは長期的に神保町をより魅力的な街にする活動を行うことを目的としている。

研究内容・結果

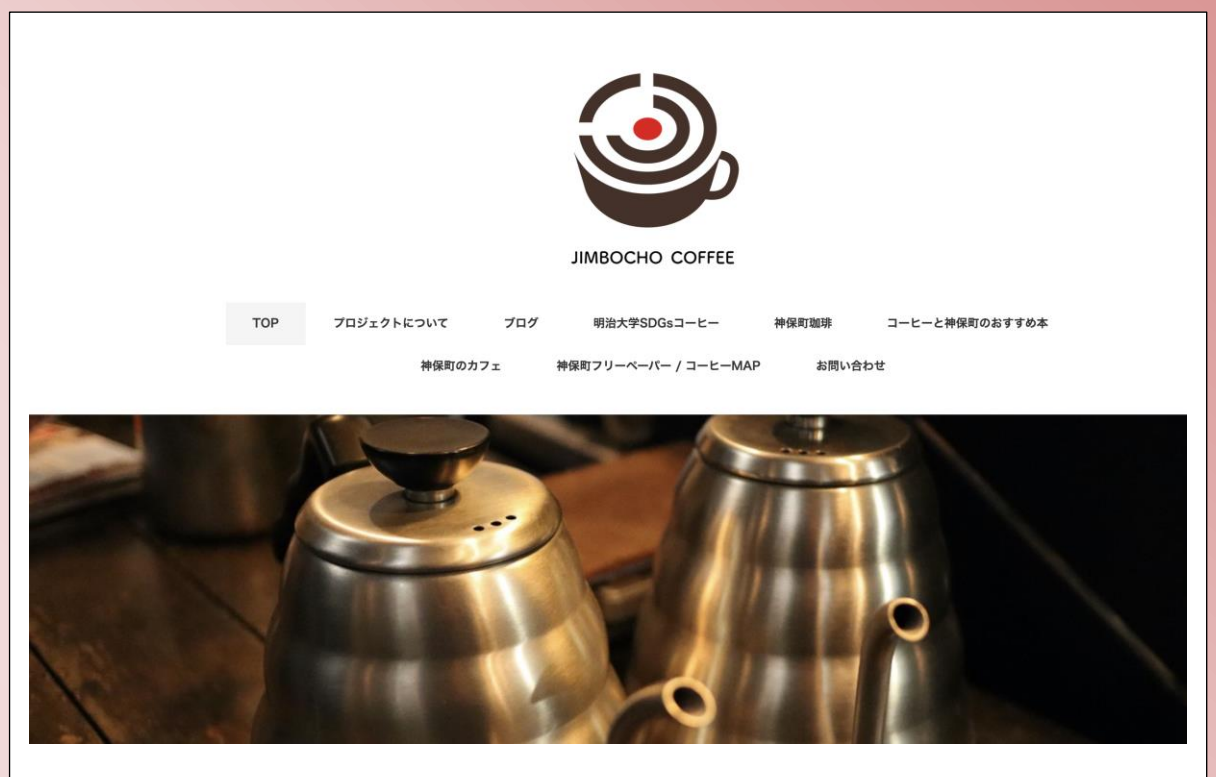
1. インタビュー記事などの発信

神保町にしかないものを活かした神保町のブランディングの一環で神保町コーヒープロジェクトのHPを立ち上げ、インタビューや取材にもとづく記事を掲載。（<https://jimbocho-coffee.com>）具体的に掲載させていただいた記事は以下のお店などへの取材及びインタビューである。

- ・ 大和屋履物店
- ・ ソーシャルグッドローズスターズ千代田
- ・ On a slow boat to...
- ・ 北澤書房
- ・ 高山本店
- ・ 千代田区神保町出張所
- ・ 神保町地区地域コミュニティ活性化委員会

2. フリーペーパーの発行

神保町フリーペーパー「ENZINE」を発行し、千代田区役所、北澤書店、大和屋履物店、On a slow boat to...、明治大学博物館、カフェパンセなどに設置させていただいた。



なお、HPには以下のQRコードからアクセスしていただけます。

3. 神保町珈琲の発売

「持続可能なまちづくり」への取り組みとして『神保町の今後のまちづくりについて考える一環で製品化した神保町珈琲を販売（明治大学予算によるもの）。

ブレンドの味を決めるにあたっては、「本に合うコーヒー」を味のコンセプトにし、「淹れてから時間が経っても美味しく飲める」ことにこだわった。

商品ラベルのデザインは「明治大学と神保町が共存するという意味で明治のイメージカラーをコーヒーカップに使用している。明治大学オフィシャル・グッズのオンラインショップ（<https://meidaigoods.net/>）で購入可能。



考察・まとめ

本年は新型コロナのため特に学生の調査への参加の目処が立たず、また予定していたイベントなどが中止になったことから、オンラインによる調査などができることを中心に実施する形に変更して実施してきた。こうした中で取り組んだのが、コーヒーについての様々な情報を発信する「コーヒーの街、神保町」をブランディング化する取り組みであった。千代田区および神保町地区の皆さまに多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。来年度以降も引き続きご協力賜れば幸いです。